

市響

第366回 ファミリー交響楽
演奏会形式オペラコンサート

愛で幸福をつかんだ男と女
モーツァルト

魔笛

序曲
私は鳥刺し
美しい絵姿
夜の女王のアリア
パ・パ・パ

フィオーレ・オペラ協会

指揮：安藤 敬
市川交響楽団

愛に翻弄され堕ちた男と女
ワーグナー ニーベルングの

指環

「ワルキューレ」
前奏曲
ジークムントとジークリンデ
ワルキューレの騎行
ヴォータンの告別
「神々の黄昏」
ジークフリートのラインへの旅立ち
と葬送

2012年 12月9日(日)
午後2時開演

この演奏会は未就学児の入場は出来ません。

市川市文化会館 大ホール

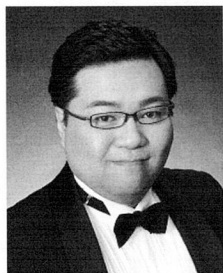
プログラム

■ モーツァルト『魔笛』より

❀ 休憩 ❀

■ ワーグナー『ニーベルングの指環』より

本日の出演者



指揮：安藤 敬 (あんどう・けい)

市川市出身。洗足学園大学附属指揮研究所修了。指揮を秋山和慶、増井信貴、故 遠藤雅古、各氏に師事。また故 西本真也氏の薫陶を受ける。都内のオペラ上演団体において音楽スタッフとして指揮活動を始め、2005年の「フィガロの結婚」を皮切りに、オペラ作品を多く指揮する。今年は北京で「ドン・ジョヴァンニ」を指揮して好評を得た。また2003年に自ら発足した団体レ・ヴォーチにおいては、オペラ制作、コンサート企画も手がけ10周年を迎えた今年は「ドン・カルロ」公演を成功させた。現在、東京アカデミー合唱団のほか、コーラス、オーケストラにてトレーナーを務めている。

フィオーレ・オペラ協会

フィオーレ・オペラ協会は2007年に組織された、専属の合唱団(フィオーレ・オペラ合唱団)を持つオペラ団体である。オペラ公演の活動を中心に行っており、2008年オペラ・デビューとなったブッチーニ作曲「トスカ」をはじめ、「ジャンニ スキッキ」ヴェルディ作曲「椿姫」「イル トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」ドニゼッティ作曲「ランメルモールのルチア」「ドン パスクアーレ」など総合的に高い評価を得ている。また青少年を対象とした鑑賞音楽教室、生涯学習オペラ公演、オペラ講座など日本各地でさまざまな公演やコンサートにも出演。2013年4月13日サントリーブルーローズで「リゴレット」上演予定。

公式ホームページ <http://fiore-opera.com/>

市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

2011年に創立60周年を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。また、著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに常に積極的な活動を展開している。

【コンサートミストレス】

立田 祥子

【第1ヴァイオリン】

石崎 俊信
石本 恵理
上田 佳津子
加藤 晶子
鎌田 真貴
菅原 夕
佐藤 薫
秦 一宜
堀 真理子
望月 聖仁
森山 淳子

【第2ヴァイオリン】

角河 友梨
亀井 玲子
佐分利 幸江
滝澤 葉子

富田 八江子

仁井 理絵
林 美穂
久田 しげ子
古澤 宏美
溝田 範子
武藤 敦子
吉岡 一郎

【ヴィオラ】

内田 綾美
柴崎 広子
高野 重樹
谷口 善樹
奈良林 弘子
星 乘昭
若林 繁

【チェロ】

倉澤 倫子
中村 公一

野中 能久

林 恭代
日澤 優
平得 裕子
福原 耕二
堀合 麻由美

【コントラバス】

池田 和正
上村 啓介
神代 順子
菊池 克彦
小林 真弓
花井 さと実
番場 仙嘉

【フルート】

遊馬 陽子
木村 眞諭紀
佐藤 洋行
番場 ますみ

【オーボエ】

太田 悦子
本間 広樹
二村 直子

【コールアングレ】

鈴木 宏子

【クラリネット】

井垣 貴嗣
一瀬 直美
時田 雄
半藤 嗣人
八木 良子

【ファゴット】

金坂 哲
菅原 斉
山内 静

【ホルン】

木下 泰斗
近藤 利昭
潮見 恵子
嶋村 恒夫
林田 朋子
藤井 茂司
山内 正晴
吉川 淳史

【トランペット】

生沼 正博
岡崎 英里
坂口 堅介
田崎 真二

【バストランペット】

安斎 幹
星野 久雄

【トロンボーン】

新井 恵美
坂田 圭
吉川 昌憲
渡辺 一裕

【チューバ】

渡邊 鉄雅

【打楽器】

井上 俊彦
大澤 香奈
佐藤 美穂子
篠崎 美奈子
和田 英恵

【ハープ】

大木 理恵
奥田 恭子

フィオーレ・オペラ協会

本日の出演者プロフィール

西 正子(S)

桐朋学園大学声楽科卒業。同大学研究科修了。二期会研究生を経て、ミラノに2年間留学。多数のオペラ、「第9」やロシアサンクトペテルブルグでのコンサート、新国立劇場などさまざまなホールで歌い活躍。チェコ オロモウツモラヴィア劇場にてチェコ国立モラヴィアフィルハーモニー管弦楽団とのオペラアリア集「カーロ ノーメ」、オペラアリア集「スペランツァ」、オペラ二重唱曲集「ドウエッティ」「ブリッランテ」好評発売中。

フィオーレ・オペラ協会会長、フィオーレ・オペラ合唱団団長。同協会主催「トスカ」「椿姫」等のオペラを上演、コンサート等を実施。千葉商科大学ではオペラ講座の講師を務める。4月13日サントリーホールブルーローズでオペラ「リゴレット」上演予定。

津山恵(S)

武蔵野音楽大卒、同大学院修了。DAAD奨学生としてミュンヘン音楽大学に留学。二期会研修所修了時に、最優秀賞(第1位)及び川崎静子賞受賞。ドンナ・エルヴィラでデビュー後、ミミ、アガータ、パミーナ、アリアドネ、伯爵夫人、コンスタンツェ、イェヌーファ、ドンナ・アンナ、ジュリエッタ、セルピーナ等を演じ、近年は二期会公演「エフゲニー・オネーギン」(P.コンピチュニー演出)にてタチアーナ、日生劇場では「オルフェオとエウリディーチェ」エウリディーチェを歌い、高い評価を受けた。

二期会、東京室内歌劇場、日本声楽アカデミー各会員、桐朋学園芸術短期大学及び東海大学非常勤講師、二期会研修所及び日本声楽家協会講師。詳しくは <http://homepage3.nifty.com/may-tsuyama/>

齋藤青麗(S)

武蔵野音楽大学卒業。聖徳大学院音楽文化研究科博士前期課程修了。第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第20回市川市新人演奏会優秀賞。これまでに《魔笛》夜の女王、侍女I、《ヘンゼルとグレーテル》グレーテル、《電話》ルーシー、《ワルキューレ》ヘルムヴィーゲで出演。二期会オペラ研修所第54期マスタークラス修了、優秀賞受賞。「二期会新進声楽家のタベ」、「二期会アフタヌーンコンサート」等出演。

日本声楽家協会研究員。二期会会員。

西 友加(S)

桐朋学園大学声楽専攻卒業後、同研究科修了。東京学芸大学大学院音楽教育研究科音楽コース修了。

二期会オペラ研修所第54期マスタークラス修了。二期会会員。

中川越百(S)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学卒業演奏会及び新人演奏会、第43回同窓会岡山県支部新人演奏会、埼玉県支部第29回定期演奏会に出演。また、新宿三井ビルディングランチタイムコンサートや成田空港ターミナルコンサート、鉄道OB会など多数の演奏会に出演。オペラでは、『フィガロの結婚』伯爵夫人役、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ役、『あえて、小さな"魔笛"』パミーナ役で出演。ソロ以外にも女声ユニット“アユコンコス”を結成し、活動している。

二期会オペラ研修所第50期マスタークラス修了。二期会会員。埼玉新演奏家連盟会員。

矢野裕紀子(Ms)

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽コース卒業、(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部23期生修了。2004年9月よりミラノに留学、2009年12月に帰国。

現在は、藤原歌劇団、(有)及川音楽事務所に所属。

東裕子(Ms)

関東学院大学経済学部、昭和音楽大学声楽学科卒業。
同大学院オペラ専攻修了。

二期会オペラ研修所第52期マスタークラス修了。修了時『二期会新進演奏家のタベ』に出演。また二期会公演『カプリッチョ』クレロンのアンダースタディを務める。これまでに『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントウツァ役をはじめ多数のオペラに出演。

二期会会員。昭和音楽大学附属音楽教室講師。

福岡章子(Ms)

島根県出身。国立音楽大学卒業。二期会オペラ研修所第52期マスタークラス修了。2005年チェコにて開催されたブラホヴァ声楽マスターコースにてディプロマを取得。

オペラや宗教曲のソリストとして多数の舞台に出演している。二期会準会員。

佐間野朋美(A)

聖徳大学人文学部音楽文化学科卒業。同大学院音楽文化研究科修了。在学中に定期演奏会、聖徳大学第6回オペラ公演 W.A.モーツァルト《フィガロの結婚》(花娘II)に出演。また G.ビゼー《カルメン》(メルセデス)、G.ヴェルディ《リゴレット》(チェプラノー伯爵夫人) W.A.モーツァルト「ミサ・ブレヴィス」等にソリストとして出演。日本声楽家協会教育センター修了。

現在、日本声楽アカデミー准会員。

河村典子(A)

東京音楽大学声楽演奏家コースで学び、東京芸術大学声楽科卒業。ドイツ ワインハイムにて研鑽を積む。二期会オペラ研修所第53期修了。第18回及川音楽事務所最優秀新人賞受賞、第4回 東京国際声楽コンクール入選。2011年地元春日井市でリサイタルを開催、中部大学 山田和夫記念 若い木のコンサート、同大学講演会にて好評を得る。ICU 国際基督教大学、春日井市民第9演奏会にて第9アルトソロを努める。オペラではカルメンタイトルロール、「魔笛」侍女3等に出演する。これまでに声楽を島崎智子、前澤悦子、フランス語ディクシオンを松野良子、発声を穂積磨矢子 各師に師事する。

現在 日本演奏連盟会員。

青柳素晴(T)

国立音楽大学卒業。89年『オテロ』ロデリーゴでオペラデビュー。95年ベルリン・ドイツ・オペラの首席演出家ヴィンフリート・パウエルンファイントの薦めでベルリン、ハンス・アイスラー音楽大学へ留学。『パリアッチ』カニオ、『ジャンニ・スキッキ』リヌッチオ等を歌い 2000年に帰国。二期会公演では04年『イエヌーファ』ラツァでデビュー後、『魔笛』モノスタス、『さまよえるオランダ人』エリック、『ダフネ』アポロ、『天国と地獄』プルート、『ナクソス島のアリアドネ』バックスで出演し、いずれも好評を博す。また、06年5月には『さまよえるオランダ人』のエリックとして、ドイツ・ハノーファー州立歌劇場より急遽招聘され満員の観衆を沸かせた。また九州交響楽団、山形交響楽団、東京シティーフィル、大阪フィルハーモニー交響楽団、など各地のオーケストラとの共演も多い。

国立音楽大学非常勤講師。二期会会員

須藤慎吾(Br)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。イタリア声楽コンクールソシエナ大賞、日伊声楽コンクール第1位ならびに歌曲賞。「ドン・ジョヴァンニ」でオペラデビュー。7年間のイタリア滞在中はイタリア各地の劇場に出演し好評を博す。コンサート活動ではベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」、「NHK ニューイヤーオペラコンサート」等に出演。今後は「仮面舞踏会」レナート、「椿姫」ジェルモン、「フィデリオ」ドン・ピッツァーロ、「カルミナ・ブラーナ」、「第九」等を予定。

国立音楽大学非常勤講師、藤原歌劇団団員

須藤慎吾ホームページ <http://opera7.jp/>

照屋博史(Bs)

沖縄県出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。日本オペラ振興会歌手育成部修了。イタリア声楽コンクール入選。

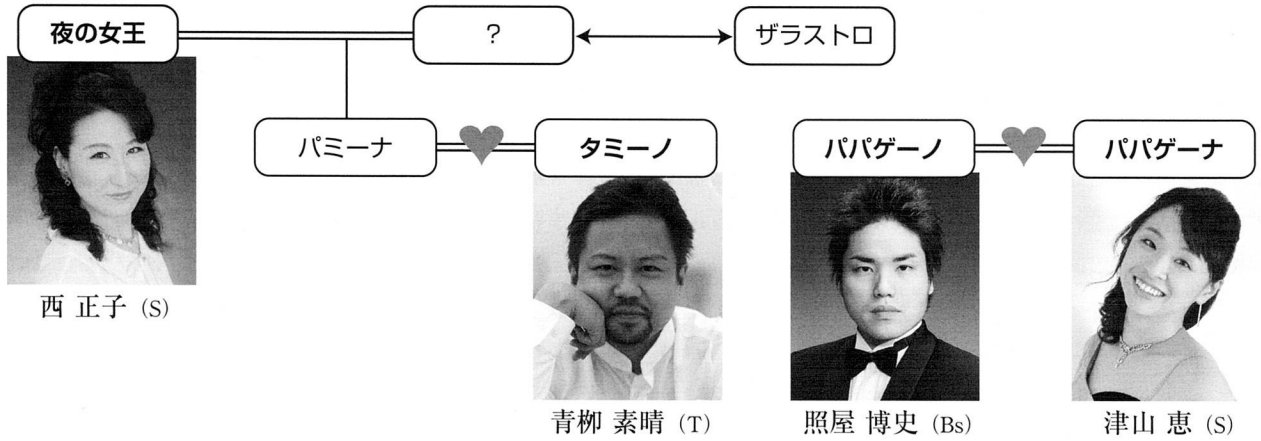
藤原歌劇団準団員。

あおち
テール

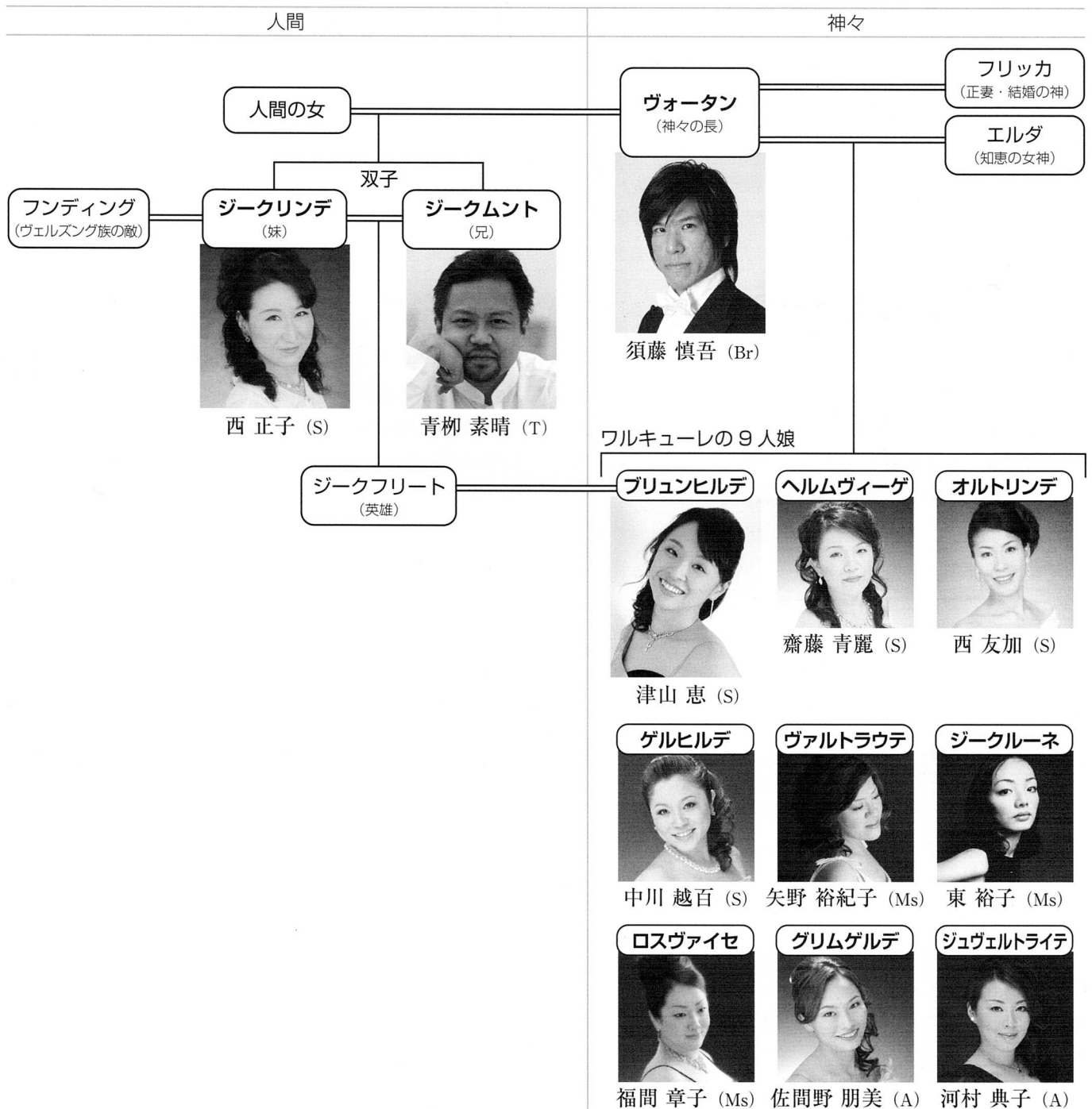
ひしひし

相関図

モーツァルト／魔笛より



ワーグナー／ニーベルングの指輪より



■ モーツァルト『魔笛』より

「このオペラを拝見して思ったのは男の方のイマジネーションの魅力です。

それにしても**魔笛**という題名はどうもじっくりこなかったです。英語でマジック・フルートですから、直訳すると魔法の笛。魔笛だとまるで悪魔の笛という誤解をしていましたので、**序曲**の厳かな始まりとイメージが違いすぎていて、ずいぶん当惑いたしました。こういうのもファンファーレっていうそうです。オリンピックの開会式のとはずいぶん違いますね。(笑)それが3回鳴ります。この3は**フリーメーソン**が好んで使う数字で、このオペラではフリーメーソンの儀式や試練の始まりを告げるシーンで使われます。心が引き締められ、清められるようです。そして。この今日の調もEフラット。フラット3つ、ここでも3です。そうそう、フリーメーソンについて調べました。「会員相互の特性と人格の向上をはかり、よき人々をさらに良くする」秘密結社だそうです。この秘密結社という呼び名から、テレビなどでは面白おかしく扱われていますが、私が調べた限りではモーツァルトやハイドンもそのメンバーだったそうで、決して危険な団体ではないように思われます。事実、入会条件は「キリスト教に限らず、仏教でも、イスラム教でも良いから、真摯な信仰心が必要」と書かれていました。序曲の速い部分は軽快で、この歌劇の展開の速さとハッピーエンドを暗示しているようです。映画『アマデウス』でモーツァルトがヒューッって叫びながら曲を作っていたシーンが印象的です。この映画がどこまで事実在即しているかはわかりませんが、それは私にとってどうでもよいことです。それは、このシーンがモーツァルトの音楽が当時としては最先端で、常人のイマジネーションにはとても及ばないものであるというメッセージだとすれば、と

■ ワグナー『ニーベルングの指環』より

「それで、ああ、この方とは無理だなと思いましたの。

ワグナーの楽劇は**ライトモチーフ**と呼ばれる短いフレーズでできていて、その1つ1つに意味があるのは知っていますわ。指環や剣などのモノ、登場人物などのヒトを表すだけでなく、「生成」「契約」「愛」などの抽象的イメージまで。だからこれを知っていれば歌詞がわからなくても、歌の意味や背後にある心理描写もわかるのですが、そのつなぎ目が粗いとそれはまるで中学の時にいやいややらされたパッチワークを思いださせますの。

てもうなずけるものだからです。イマジネーションといえばこの歌劇で活躍する男性2人は素晴らしイマジネーションの持ち主として描かれています。

まずはパパゲーノ。『**私は鳥刺し**』は自己紹介とまだ見ぬ恋人を想像して歌うモノローグ。日本の狂言でよく見られますが、歌劇で最初に登場人物が自己紹介するのは少ない気がしますがどうですか。詳しい方がいらっしゃったら教えてください。

私もそうですが、王子タミーノの歌う『**美しい絵姿**』の歌いだしの6度の跳躍に魅了される女性は数えきれないと思います。まだお見合いの経験はありませんが、写真を見て好きになられるってどんな気分でしょう。私は悪い気はいたしません。

その好きになられたパミーナは夜の女王の娘ですが、この歌劇では父親はわからずじまいです。これは私のまったくの当てずっぽうですが、神官ザラストロではないでしょうかザラストロはこの歌劇の中で、あのように気性の激しい女性のもとにパミーナを置いておくのはよくないと考え、自分のもとに連れてきたと言っていますが、これはおそらく父性愛によるものかと思えるのです。この歌劇の始まりでタミーノは大蛇に襲われたところを夜の女王たちに助けられますが、これは絶対女の策略だと思います。私も已年ですが、蛇と女は執念深いのです。(笑)だから『**夜の女王のアリア**』では、自分の娘パミーナに「憎きザラストロを殺せ」と命じるわけです。どうですかこの仮説。

最後の『**パ・パ・パ**』は赤い糸を信じる私にとって、ちょっと恥ずかしいけどうらやましい曲です。

愛の力を信じて自らの努力で本当の幸せをつかむ。『魔笛』はそんな2組のカップルの歌劇です。」

それと、ワグナーは女が幸せになるのが許せないのかもって思うことがありますの。エヴァ(マイスタージンガー)だって、歌合戦の賞品にされて、好きな騎士が優勝してくれたからよかったものの…。エルザ(ローエングリン)、ゼンタ(さまよえるオランダ人)、エリーザベト(タンホイザー)もみんな男の方の犠牲になっていますし、イゾルデ(トリスタンとイゾルデ)だって本当に死を望んだのかしら。女は現実主義なのです。その意味では『ニーベルングの指環』のヒロイン、ブリュンヒルデも愛に翻

弄された悲しい女のひとりかもしれませんわ。

これは**ニーベルング**族という地下に住む小人族が手に入れた世界を支配できる黄金の**指環**の話です。その代償は愛を断念し呪うこと。これを巡り、ラインの川底から黄金を奪ったニーベルングの小人、指環の呪いで殺し合いをしてしまう巨人の兄弟、優柔不断な長ヴォータン率いる神々の戦いで始まり、権力闘争の末の神々の衰退で終わる。楽劇『ニーベルングの指輪』はそんな物語なのです。

その序夜『ラインの黄金』に続く**第1夜『ワルクューレ』**は若者が戦いに傷つき逃れてきた嵐の場面を表す**前奏曲**で始まります。

若者はヴォータンが人間に生ませたもので自分をヴェーバルトと呼んでいました。たどり着いた先は宿敵フンディングの館。春の訪れのようにさわやかな愛を感じる**ジークムント**と**ジークリンデ**運命的の出会いの場面です。介抱するフンディングの妻ジークリンデと旅人は互いに引かれ合いつつ、その夜、生い立ちを話すうち兄妹であることを知ります。ジークリンデは旅人に名前をジークムント（勝利を守る者）と名乗るよう勧め、それに応えてジークムントは木に刺さった剣を引き抜き二人は手に手をとって逃亡します。剣の名前は苦悩を意味するノートゥング。神々長ヴォータンがわが息子のために用意した、つまりジークムントしか抜くことができないものです。木に刺さった剣は、フンディングと妻の夫婦関係の象徴でもあります。だから剣を引抜いたジークムントは、双子の妹の今の婚姻関係を断ち切り、自分の妻とする「ノートゥング」（苦難）を自ら選んだ、高らかな愛の宣言なのです。

『ワルクューレの騎行』はとても有名な曲なのでご存じでしょ。**ワルクューレ**とは戦死者を選ぶ乙女たちで、戦いの勝ち負けが神により決められると考えられていた時代の北欧神話に由来しているそうですわ。ワルクューレたちが戦場の岩山で、戦い敗れた英雄の屍を片付け、自分のお気に入りの男たちの死体を物色し取り合ったり、自分の乗ってきた馬たちが戦場の殺気に興奮して喧嘩する様子を笑ったりしている曲です。

そこに遅れてやってきたワルクューレの長女ブリュンヒルデは、父ヴォータンから義理の兄弟ジークムントを殺すことを命じられていましたが、ジークムントとジークリンデ2人の愛の強さに心を打たれ命に背いたことを告白します。

ブリュンヒルデはヴァルハラに逃げ込みますが、そこへ現れたヴォータンにジークリンデは双子の兄の子供

を身ごもっていることを告げ、胎内の子をジークフリートと名付けるのです。ここからが**ヴォータンの告別**のシーンです。ヴォータンは娘への怒りと愛との葛藤の中、ブリュンヒルデの潤んだ瞳を閉じ、まぶたに口づけして神力を奪って永遠の別れを告げます。そして槍で岩を突いて火の神ローゲを呼び出し彼女を守るようにと炎を燃え上らさせます。その炎は恐れを知らない英雄だけが越えられるもの。彼女は、眠り姫のように、誰であれ最初に目を覚まさせた男のものとなると告げるのです。

時は経ち、双子の兄妹の子供ジークフリートは成長し、運命の導きなのか燃える岩山でブリュンヒルデを見つけます。ブリュンヒルデの美しさに魅せられジークフリートはプリンス・チャーミングのように、唇を重ねるとブリュンヒルデは目覚めます。そして2人は運命の力に導かれたかのように強く愛し合い、声を合わせて愛の歓喜を歌い上げるのです。そんな**第2夜『ジークフリート』**以降は、ジークフリートとブリュンヒルデの話になります。

この2人の愛の夜明けから**第3夜『神々の黄昏』**は始まります。ジークフリートは「支配の指環」をブリュンヒルデに愛の証として預け新たな冒険を求めてライン川に向けて旅立ちます。これが「**ジークフリートのラインへの旅**」です。

しかしそののち、陰謀で“忘れ薬”を飲まされたジークフリートは、ブリュンヒルデと愛を誓ったことも忘れ、彼女から力づくで指環を奪います。宿敵のいる城での酒宴で、ジークフリートは自らの過去を語るうちにブリュンヒルデとの出会いを思い出し、一同に明かしてしまいます。ジークフリートに過去を思い出されては困る宿敵ハーゲンも、その背中に槍を突き立て、瀕死のジークフリートは、ブリュンヒルデの目覚めを回想して息絶えます。そして**ジークフリートの葬送**のシーンになるのです。

ラインの乙女たちからすべてを聞かされたブリュンヒルデは、ジークフリートの指から指環を取り、自ら炎に飛び込みます。するとライン川が大氾濫し、ブリュンヒルデの亡き骸も、指環も、宿敵ハーゲンも、川底に吸い込まれてしまいます。「ブリュンヒルデの自己犠牲」です。ラインの乙女たちに指環は戻り、一方天上でも神々の住むヴァルハラからも火の手が上がり、神々の時代は終焉を迎えます。

「愛」を捨て権力と財宝に目がくらみ衰退した小人、巨人、神々に対し、「愛」を信じ貫いた人間を描いた楽劇『ニーベルングの指環』は「愛」の力を讃えた物語です。」